

東京都知事
小池 百合子 殿

武蔵野商工会議所
会頭 稲垣 英夫 印
武蔵野商工会議所 飲食業部会
部会長 高田 ルミ子

With コロナに向けた社会構造の転換を促す施策（飲食業向け）についての意見・要望

武蔵野商工会議所は、武蔵野市内の飲食店に対し、国及び東京都等のコロナ感染予防対策の方針を順守するよう周知をしております。依然としてコロナ収束が見えない中で、飲食業で構成しています当所飲食業部会から、現状のコロナ感染防止対策に対して、規制対象が特定業種のみ制限されていること、科学的根拠に基づいた施策かどうか疑問の声が上がっています。飲食店等を取り巻く営業環境が悪化していることが起因となり、このままでは苦渋の果てに廃業へ追い込まれるお店が増加することが懸念されます。また、飲食店に関係する複数の事業所も苦しい経営が続く、廃業に追い込まれることも懸念されます。感染対策を引き上げると同時に感染予防の徹底の下で、社会経済活動を高めていくことこそがコロナ禍を乗り切る最大の経済対策であると考えます。

そこで武蔵野商工会議所（飲食業部会）は、次の事項について緊急に改善を要望します。

1. 「一律酒類提供禁止」等に対し改善を要望します。酒類提供禁止は、事実上の休業命令であり、酒類なしでは飲食業は商売が厳しい状況にあります。既に自助努力の限界を超えおり、このままではさらに廃業が増加しかねません。次の点を踏まえ「一律酒類提供禁止」や「時短営業」の緩和を要望します。
 - ① 「酒類」からコロナが感染するのではなく、飲酒する人（お客様）のモラルマナーが感染原因であるのではないかと考えます。「一律酒類提供禁止」や「時短営業」を見直し、感染原因について、きちんとした科学的なエビデンスとともに、これまでの対策効果を具体的に示していただき、改善への取組を要望します。
 - ② 一律の酒類提供禁止ではなく、感染予防対策を十分に行っているお店については、営業時間の拡大や酒類の提供可能といった一部緩和を要望します。半面、感染予防対策を講じることなく酒類の提供を行ったり、深夜営業を続けているようなお店が増加してきている現状があります。厳しく行政指導を行い正しく感染予防対策を行っている店舗が不利益を被ることがないように要望します。
2. 東京都等の要請に応じる事業者へ、協力金の支援が講じられていますが、総じて支給まで時間がかかっており、支援額も不足しています。協力金の増加並びに資金繰りに支障が生じないよう、速やかな支給を要望します。加えて、営業時間短縮に係る感染拡大防止協力金の対象外の飲食店等も同じように苦しんでいます。公平な支給に努め協力金の支給対象に加えてくださいますよう要望します。
3. 行政の発言や表現により「外食」に対するマイナスイメージが広がり、「外食＝悪」のイメージが社会的風潮となりつつあります。飲食業界は人々の生活に潤いをもたらす、必要不可欠な業種であると確信しています。今後、「安心安全な飲食店」という認証制など、安心して外食してもらう施策、また、規制が緩和となった時に、飲食店向け Go To Eat キャンペーンなどお客さまの足が再び飲食店へと向いてもらえるような施策を切に要望します。